

記入例

(申立先) 宇和島市長 殿

私は、以下に記載する者
生計費の負担」という。
申立てが真正であること
注 18歳に達する日以後の最初の

監護相当・生計費の負担についての記入例

大学生年代(18歳年度末を経過してから22歳年度末まで)のお子さんがおり、
高校生年代までのお子さんと合わせて3人以上養育している場合に提出して
ください。

※今回対象となっている**大学生年代のお子さん**について記入してください。
高校生年代までのおさんは記入不要です。

※記入の際は、消せるボールペンや修正ペンは使用しないでください。
※訂正の際は、二重線で訂正をお願いします。(訂正印不要)

し、かつ、その生計費を負担していること(以下「監護相当・
施設等に入所等している者でないもの(詳細は裏面を参照)

1	ふりがな 氏名 ふくし いちろう 福祉 一郎	生年 平成 令和 15 年 7 月 2 日	住所 (住民票の住所を記載してください) 松山市〇〇町〇〇番地〇〇 △△マンション〇〇号室			
個人番号	続柄 子	職業等(いずれかに○)※ 学生・無職・その他	通学先(学生の場合のみ) 〇〇大学	卒業予定時期 (学生の場合のみ) 令和 8 年 3 月	申立人による監護相当の状況(いずれかに○) 1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	申立人による生計費の負担の状況 (該当するものすべてに○) 1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()
2	ふりがな 氏名	生年月日 月 日	住所			
個人番号	続柄	職業等(いずれかに○)※ 就職して収入があるが、児童手当の請求者(受給者)が生計費の負担をしている場合は、「その他」に○をつけてください。 ※学生がアルバイトをしている場合は、「学生」に○をつけてください。	通学先 先	卒業予定時期 (学生の場合のみ) 令和 年 月	同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()
3	ふりがな 氏名	生年月日 平成 令和 年 月 日	住所			
個人番号	続柄	職業等(いずれかに○)※ 学生・無職・その他	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期 (学生の場合のみ) 令和 年 月	同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

日付:記入する日(郵送の場合は投函する日)

児童手当の請求者(受給者)の情報を記入してください。

記のとおり相違ありません。

令和 7 年 3 月 20 日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 宇和島市曙町1番地

氏名 福祉 太郎

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。

<添付書類> 次の①および②の書類を必ず添付してください。

- ① この確認書に記入した子のマイナンバーが確認できるもの
(マイナンバーカードの両面のコピー(写真を印刷したものでも可)、
もしくは、住民票(続柄・マイナンバーが記載されたもの))
- ② 児童手当の受給者(父または母)の本人確認書類のコピー
(マイナンバーカード、運転免許証、在留カード等)

審査において、追加書類(父母等が生計費を負担していることが確認できるもの)を
求める場合があります。

【追加書類の例】

- ・子の健康保険証(父母等が被保険者になっているもの)の写し
- ・子の生計費を父母等が負担していることが分かる書類(送金記録の写し等)
- ・子が居住している住所地の物件に係る賃貸借契約書の写し
(父母等が契約者になっているもの)